

詩は難しい、ましてや英語で書かれた詩など…と思われるかもしれませんが、鑑賞の鍵となるポイントを理解して読めば、豊かな英文学の世界が目の前に広がってきます。本講座は、昨年と同タイトルの講座の第二弾として、19世紀以降の英詩を扱います。様々な内容と形式の英詩を対訳で読みながら、ひとつひとつの言葉を味わいつつ、それぞれの詩の特質を探っていきます。英文学の柱である詩を通じて、英国文化に触れてみましょう。

平成 24 年度秋田大学公開講座

英語の詩を読んでみませんか？

—対訳で味わう英詩の世界と英国文化 Ⅱ—

第1回 6月29日(金)

英詩鑑賞のための基礎知識

第2回 7月6日(金)

ロマン主義時代の
政治詩を読む

第3回 7月13日(金)

ヴィクトリア朝期の
物語詩を読む

第4回 7月19日(木)

第一次世界大戦期の
戦争詩を読む

第5回 7月27日(金)

20世紀前半の
モダニズム詩を読む



Posthumous Portrait of Shelley
Writing Prometheus Unbound (1845)
by Joseph Severn

会場

カレッジプラザ

(秋田市中通2丁目 1-51 明徳館ビル2F)

日時

平成24年6月29日(金)
～7月27日(金)

18:30～20:00
毎週金曜日 5回シリーズ
※第4回のみ7月19日(木)

の開講となります。

対象

どなたでも(定員:30名)

※定員に達し次第締め切りといたします。

受講料 2,500円

※講座初回に受付にてお支払いください。

お申込み方法

電話・FAX・Eメールで
お申込みください。

講師

秋田大学教育文化学部
欧米文化講座

大西洋一准教授

秋田大学

地域創生課

TEL:018-889-2270 FAX:018-889-3162

E-mail:shakoken@jimu.akita-u.ac.jp

秋田大学 HP <http://www.akita-u.ac.jp/>

英語の詩を読んでみませんか？

— 対訳で味わう英詩の世界と英国文化 II —

〔講座日程〕

	期 日	時 間	講 義 題	講義概要
第1回	6月29日(金)	18:30~20:10 (18:30~18:40 開講式)	英詩鑑賞のための 基礎知識	英語で書かれた詩を鑑賞するために必要な、英詩の形式・韻律に関する基本的事項を解説します。そして、英語の定型詩および自由詩の多様な姿を紹介しながら、現代英国文化において詩が占める位置を考えます。
第2回	7月6日(金)	18:30~20:00	ロマン主義時代の 政治詩を読む	自然、自我、想像力などをテーマとした詩が多いロマン主義時代は、社会の激動期でもありました。「西風に寄せる歌」などの抒情詩で有名なパーシー・ビッシュ・シェリー(Percy Bysshe Shelley, 1792-1822)の、峻烈な政治詩を精読します。
第3回	7月13日(金)	18:30~20:00	ヴィクトリア朝期の 物語詩を読む	昔から詩は、詩人の思想や心情を吐露するのみならず、物語を語るための有効な媒体でした。アルフレッド・テニスン(Alfred Tennyson, 1809-1892)の物語詩を、同一テーマを扱った絵画と関連させながら読み解きます。
第4回	7月19日(木)	18:30~20:00	第一次世界大戦期の 戦争詩を読む	ヨーロッパ全土に未曾有の被害をもたらした第一次世界大戦は、文学の世界にも大きな影響を及ぼしました。ルパート・ブルック(Rupert Brooke, 1887-1915)ら英国の「戦争詩人たち」が遺した、悲壮な作品を味読します。
第5回	7月27日(金)	18:30~20:10 (20:00~20:10 閉講式)	20世紀前半の モダニズム詩を読む	20世紀が進むにつれて、英詩はだんだんと現代的な相貌を見せていきます。トマス・スターンズ・エリオット(Thomas Stearns Eliot, 1888-1966)の都会を舞台としたモダニズム詩を読みながら、現代詩へとつながる詩の特徴を検討します。

〔会場案内図〕



※お車で越しの方は、明徳館ビル内立体駐車場をご利用ください。公開講座開催期間中は無料で利用することができます。ただし、高さ1.5メートルを超える車は利用できませんので御了承ください。その場合は、恐れ入りますが周辺有料駐車場をご利用くださるようお願いいたします。